



事業シート（概要説明書）

様式1号

① 事業名	商工業振興事業	総合計画体系	章	03元気創造都市	節	09商業・サービス業
② 細事業名	起業家育成支援事業	担当部・課	産業振興部 商工観光課		事業開始年度	平成18年度
		根拠法令				

③ 事業内容 (手段・手法など)	(1)新規出店を目指す事業者等に、商店街の空き店舗(にぎわいプラザ)低価で賃貸し、経営ノウハウ等を習得する場(チャレンジショップ)を提供する。専門家による経営支援講座等を実施し、事業者に対する助言・支援に努める。 (2)集客の方策として地場産品等の販売や集客イベントの展開、特産品の販売を行うとともに、地場産業の展示スペースを設け、伝統工業の普及啓発に努める。空き店舗内のイベントエリアを活用した集客イベントを実施し、商店街への誘引を図る。					
④ 目的 (何のために)	商店街の空き店舗(にぎわいプラザ)を活用し、チャレンジショップの運営による起業家育成の支援及び集客拠点を設けることによって、活力ある事業者の新規開業を促進するとともに、商空間の活性化を図ることを目的とする。					
⑤ 対象及び人数 (誰・何を対象に)	①起業家育成支援→新規開業を目指す事業者等 (テナントスペース10ブース) ②集客拠点→市民、地域住民					
⑥ 現在の実施方法	外部委託 ※委託業者は右記詳細のとおり (詳細 : 河内長野市商工会 )					

⑦ コスト	平成23年度予算		直接経費(A)の内訳						
	直接経費(A)	3,500 千円	・店舗等賃借料 1,260千円(@105千円×12ヶ月) ・管理費・販売促進費 2,240千円						
	人件費(B) ※(C)+(E)	306 千円	内 担当正職員:概算人件費(C) (H22決算平均給与8,260千円×従事職員数)		306 千円	従事職員数(D)	0.037 人		
			記 臨時職員他(嘱託・アルバイト)人件費(E)		0 千円	従事職員数(F)	0 人		
総コスト (A)+(B)	3,806 千円	財源内訳(収入)							
		国・府からの補助金等	0円	使用料・手数料	0円	一般財源(市債含む)	3806千円	その他	0円

⑧ 対象事業の抽出の視点 (選考優先順位)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 見直しを検討している事業</li> <li>◎ 積極的に市民の意見を取り入れたい事業</li> <li>◎ 市単独事業</li> </ul>
--------------------------	---

⑨ 目標 (目指すところ) ※より具体的に記入	(1)起業家育成支援・独立開業実績が少なく、現時点では、チャレンジショップの運営による起業家育成が見込まれないことから、平成23年度中に廃止を含めた見直しを図る。(2)集客拠点・河内長野市の中心市街地であることから、河内長野駅前という好立地を生かし、事業者を含む地域住民の交流拠点として、にぎわい創出を図る。
⑩ 事業の現状	(1)起業家育成支援・チャレンジショップについては、10テナントスペースの内、平成22年度では最大9店舗が出店されていた時期もあるものの、現在(平成23年3月末時点)では3店舗に留まっている。またチャレンジショップより独立した事業者は過去からの累計で5事業者である。 (2)集客拠点・イベント会場としてイベントエリアの貸出等を実施しているが、にぎわいを創出するには至っていない。
⑪ 目標と現状の差 (課題) ⑨-⑩	(1)起業家育成支援・平成23年度中に廃止を含めた見直しを図る。 (2)集客拠点・現在の委託先では運営が困難であることから、新たな委託先となる団体の選定が必要である。

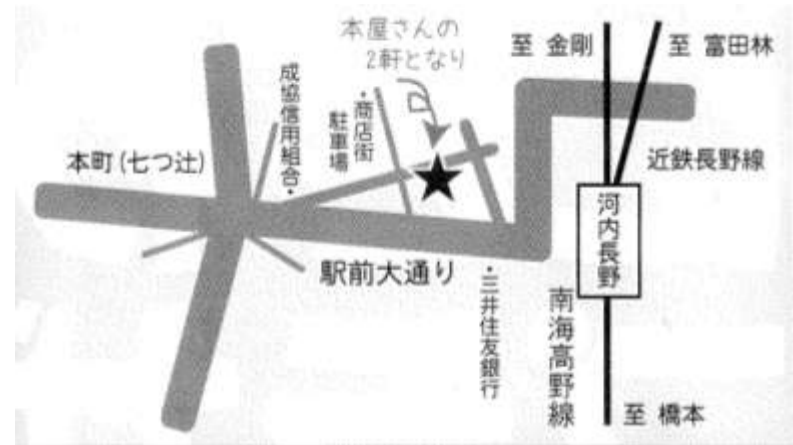
⑫ 解決策と論点 (⑪の課題の解決策と問題点)	市側の事前論点	→	最終論点
	<p><b>【解決策】</b> 集客にかかるイベント等の運営ノウハウをもつ、市民活動団体等と連携し、地域住民の交流拠点としてにぎわい創出を図る。そのため、運営・管理業務を委託する団体や、施設改修、周知PRの強化が必要と考える。</p> <p><b>【論点】</b> 地元事業者の衰退化が顕著で、事業者が中心となった集客事業の実施は、人的及び財政的にも困難である。そのため、市民活動団体等と連携した事業を実施する場合であっても、施設改修費、運営・管理費、広報費を含めた事業費にかかる費用は、市の全額負担となる可能性がある。</p>		※ 事前概要説明会開催後に記入

# 様式2号

## 起業家育成支援事業

### 1. 実施場所等

- (1) 施設名称 「にぎわいプラザ」
- (2) 所在地 河内長野市本町 11 番 8 号
- (3) 電話番号 0721-69-5001
- (4) 面積 約 540 m<sup>2</sup>  
(チャレンジショップエリア約 324 m<sup>2</sup>、イベントエリア約 216 m<sup>2</sup>)
- (5) 営業時間 10:00～19:00
- (6) 定休日 毎週日曜日
- (7) 総利用者数 12,841 人



### 2. チャレンジショップエリア（起業家育成支援）の利用状況（平成 22 年度実績）

- (1) 稼動ブース 年間平均 5 ブース（全 10 ブース）
- (2) 面積 6.48 m<sup>2</sup>（間口 2.4m × 奥行 2.7m）
- (3) 賃借料等 15,000 円
- (4) 期間 原則 6 月（最長 3 年）
- (5) 経営指導 河内長野市商工会による経営指導
- (6) 販売促進
  - ・ 広告宣伝 月 1 回チラシ発行（河内長野駅周辺 8000 戸）等
  - ・ 集客イベント 全 100 回：2,432 人
- (7) 利用者数 チャレンジショップ：2,356 人



### 3. イベントエリアの利用状況（平成 22 年度実績）

- (1) 利用回数 341 回
- (2) 利用者数 4,353 人
- (3) 利用内容 太極拳教室、大正琴教室、ウクレレ教室、ハワイアンフラダンス等

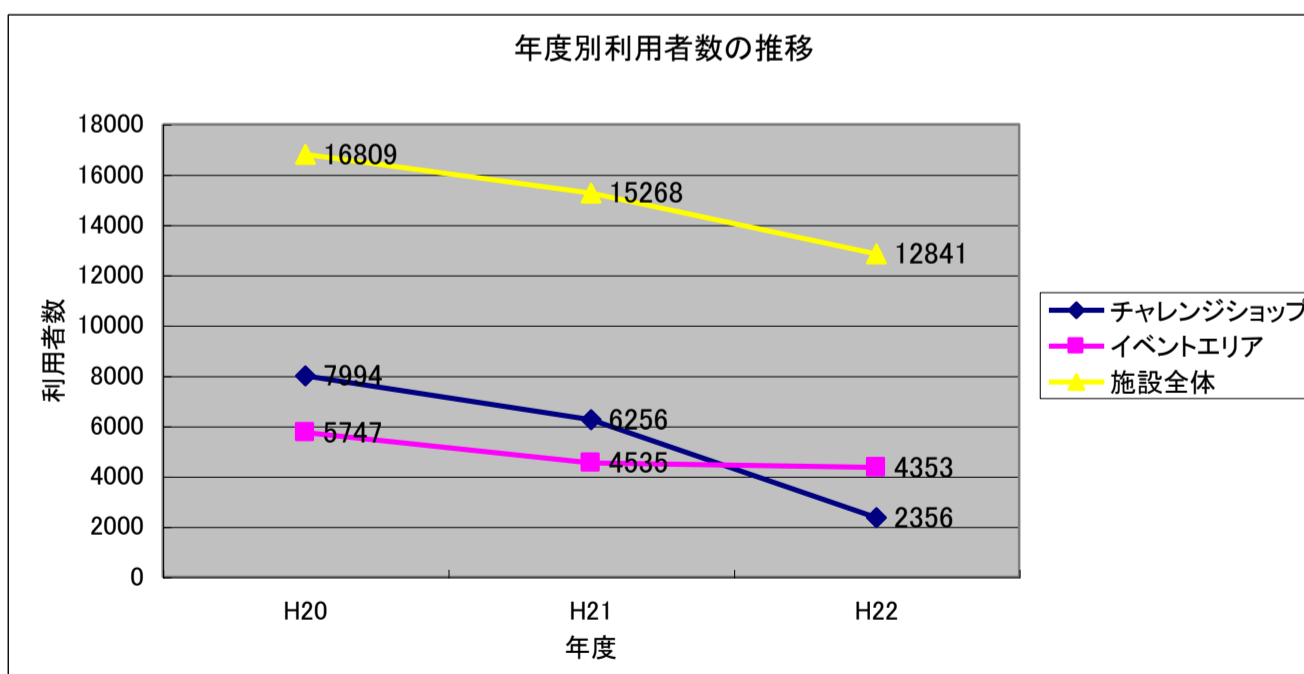


表1 年度別利用者数の推移

### 4. その他（特設コーナーの設置）（平成 22 年度実績）

- (1) 内容
  - ①河内長野市特産品の展示と販売  
特産品の展示ショーケースを設置するとともに、特産品販売（すだれ、つまようじ、竹製品、天見うるおいローション、天見うるおい美容液、天野のかぜ）を販売した。
  - ②障がい者支援コーナーの設置  
河内長野市作業所連絡協議会の協力により、授産品を委託販売した。
- (2) 利用者数 3,700 人